



# かけはし

2016年8月号 No.42

医療法人 優なぎ会

## 雁の巣病院

心あたたまる病院を目指して  
地域とのコミュニケーションを大切にする雁の巣病院情報誌

創立60周年特集 還暦を迎えた雁の巣病院 写真と共に足跡を辿る  
地域を結ぼう 連携医療機関のご紹介 Vol.3「まつしまメンタルクリニック」  
メディカルボイス「『心身ヘルスケア病棟』のご案内」佐伯 祐一  
超簡単! レシピ「ゴーヤの酢づけ」  
編集後記



# 創立60周年特集

還暦を迎えた雁の巣病院  
写真と共に足跡を辿る

昭和37年頃の雁の巣病院（院長・熊谷雅之6歳、妹・尚子2歳）

『ありがとうございました!! そして、さらにチャレンジ!!』



医療法人優なぎ会 雁の巣病院  
院長 熊谷 雅之

雁の巣病院は、今年6月1日で60年を迎えました。そして、同時に私自身も5月30日に60歳となりました。いわゆる、『還暦』ということになります。読んで字のごとく、暦が一回りしたということで、生まれ変わりの年と言えるのでしょうか。なによりも、ここまで大過なくやってこられたのは、言うまでもなく、今まで当院にて働いてくださった多くのスタッフの方々のおかげと、その他多くの方々のご指導、ご支援があったからに他なりません。こころから、感謝申し上げます。

この60年の間に精神科医療は大きく変わりました。そして今現在も変化し続けています。その変化に乗り遅れないように、いいえ、むしろ変化を誘導しながら、リーディングホスピタルとして、これからもチャレンジ精神を忘れず邁進していきたいと思っております。

当院は、平成25年に増改築し、目を見張るような、精神科病院のイメージを塗り替えてしまうような、開放的で明るい病院となりました。また、ハード面だけでなく、福岡県内でも1、2位を争うような24時間365日の精神科救急やアルコールや薬物依存などのアディクション医療を展開できる最先端の精神科医療機関となったと自負しております。それもこれも『納得の

いく医療』を理念として掲げた当院の方針に賛同し、ご尽力頂いた皆さんのおかげだとこれまで感謝、感謝申し上げる次第です。実は、この病院理念の『納得のいく医療』は、順番にこだわっています。まずは、患者・家族の皆様が納得し、そして最後に私達医療スタッフの納得のいく医療という順番です。私が過去関わってきた医療を顧みたとき、医療スタッフは良いと思って行ったことが、果たして患者さんあるいはご家族の納得する医療だったのかという疑問を常日頃から抱えていました。順番が逆ではないかと感じていたため、あえてこの順番にこだわった理念を打ち立てたのです。またもう一つ、患者さんは、朝9時から夕方5時までの間だけ具合が悪くなるわけではありません。精神科の患者さんは、むしろ夜間に不安になったりすることが多いように思い、病院は役所じゃない!!、という強い思いから、24時間365日の医療を展開することを理念としました。クリニックや他院の患者さんで、「夜間眠れなかったらどうしよう」と不安になり電話をしてこられる患者さんに対して、「何かあったらいつでも相談に応じますよ」とお話しするだけで安心し、その後何の連絡もなく終わることもあり、安心してくれたのだろうとホッとする思いを持つこともあります。これが、私達が掲げ、多くのスタッフに賛同を得ることができた『納得のいく医療』なのです。

何度も繰り返しになりますが、他に言葉が見つからず、当院を支えて下さっている多くの方々に、本当に本当に、『ありがとうございました』と、こころから感謝申し上げます。そして、還暦を迎える新たな気持ちで、これからも『さらにチャレンジ!!』して参りますので、ご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

# 沿革

- 昭和31年 6月 糧屋郡和白町大字奈多1518の15番地に開院（43床）院長 熊谷易三
- 昭和32年 6月 糧屋郡和白町大字奈多1264の8番地（現所在地）に移転（104床）
- 昭和44年 6月 内科と歯科を新設 205床（精神科189床・内科16床）
- 昭和51年 7月 本館竣工308床（精神科245床・内科63床）
- 昭和51年 11月 1病棟内を一部開放病棟とする
- 昭和59年 9月 西館（現デイ・ケア棟）竣工 344床（精神科278床・内科66床）
- 昭和63年 3月 450床（精神科384床・内科66床）
- 昭和63年 5月 理学療法認可
- 平成元年 10月 作業療法認可
- 平成2年 6月 アルコール専門治療（アルコール・リハビリテーション・プログラム）スタート
- 平成5年 4月 精神科デイ・ケア認可
- 平成9年 4月 みやび苑デイ・ケア開所
- 平成12年 2月 新棟（現B棟）竣工
- 平成12年 8月 精神療養病棟（I）認可
- 平成14年 6月 アルコールデイ・ケア開所
- 平成15年 10月 協力型臨床研修病院の指定
- 平成18年 6月 開院50周年 熊谷雅之へ院長（管理者）交代
- 平成18年 9月 精神科急性期治療病棟入院料1 算定開始 409床（精神科356床・内科53床）
- 平成19年 7月 JSCIシルヴィアホーム認知症看護・介護研修センター設置
- 平成20年 12月 指定病床数変更（10→30床）
- 平成21年 1月 応急入院指定
- 平成21年 7月 精神科救急入院料1 算定開始 385床（精神科356床・休床29床）
- 平成21年 9月 精神科急性期治療病棟入院料1 アルコール・ストレス治療病棟（60床）で算定開始
- 平成22年 4月 重度アルコール依存症入院医療管理加算 算定開始
- 平成22年 11月 精神科救急入院料1 2ヶ病棟（96床）で算定開始
- 平成23年 3月 上部消化管内視鏡 導入
- 平成23年 4月 法人化「医療法人 優なき会 雁の巣病院」となる
- 平成24年 4月 飲酒運転撲滅対策医療センター・指定医療機関に指定
- 平成24年 7月 精神科救急入院料1 3ヶ病棟（136床）で算定開始
- 平成25年 8月 新病院竣工、運用開始
- 平成25年 11月 特定病院認定 修正型電気けいれん療法（m-ECT）、クロザピン治療開始
- 平成26年 4月 薬物依存専門治療プログラム（G-LIFE）開始
- 平成27年 7月 大腸内視鏡検査 導入



昭和30年代の雁の巣病院の様子。患者さんを見送るスタッフ



昭和51年。円形ドームの前身は旧日本軍の燃料庫。ドーム型病棟として、また様々なレクリエーションの場として利用されていた



平成2年。「久里浜式プログラム」を福岡市内で最初に取り入れた。患者さんだけでなく、スタッフも共に参加し、自己研鑽に努めた



平成5年



精神科救急病棟 144床（3ヶ病棟）  
精神科急性期治療病棟 60床  
精神療養病棟 60床  
一般病棟 29床  
(平成25年)

## 平成28年6月1日 創立60周年

これからも、患者・家族の皆様、  
そして私たちが「納得のいく医療」  
の実践に努めます。



このコーナーでは、雁の巣病院と連携する医療機関をご紹介します。雁の巣病院では、入院が必要な患者さんや、専門治療が必要な患者さんのご紹介をスムーズに受け入れ、退院後の『外来通院』は、ご紹介いただいたかかりつけの先生方へお願いするよう努めています。

## まつしまメンタルクリニック

### 松島院長 からひと言

私は、九州大学病院・佐賀医科大学病院・精神科病院・老健施設・精神科クリニックを経て、平成20年2月に博多駅筑紫口の近くで開業しました。不安障害や感情障害の患者さんが多く、博多区を中心とする福岡都市圏の会社や行政機関に勤めている人や学生に加え、近隣にお住まいの方や遠方の方にも幅広く利用していただいている。当院では、臨床心理士が複数いて心理カウンセリングをしていること、てんかん診療をするため脳波検査をしていること、休職中の方や次の就職をめざしている人達を対象にショートケア・デイケアで就労リハビリをしていること、などが特徴です。

長年、精神科医療でもっとも困っていたのが、精神科病院の入院先を探すことでした。方々に電話しても「ベッドが空いてない」と断られ続け、やつとのことで入院先が決まるまでに時間がかかる苦労していました。

雁の巣病院が精神科スーパー救急を始めて、24時間365日ハード救急だけでなくソフト救急も受け入れてくれるようになり、大変助かっています。当院に通院している患者さんや家族の方に、休日など診療所が開いてないときに緊急に入院を要する場合は、直接雁の巣病院に電話してよいと話しています。これは今まででは考えられなかつたことで、精神科救急のあり方が一変したと言ってよいと思います。また、雁の巣病院の先生方もきちんと治療して紹介元に返してくれます。大変有り難く思っています。

雁の巣病院が、精神科スーパー救急に力を入れ、病院全体が建て替わり、治療体制が整ってきました。熊谷院長の決断力・実行力に敬服しています。今後も、精神科病院と診療所の共存共栄を目指して、日々の診療に力を尽くしていきたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



福岡市博多区博多駅東1-13-17 松岡ビル2階

☎092-432-6110

[URL][www.matsushima-mc.com/](http://www.matsushima-mc.com/)

■診療科目：精神科・心療内科

■診療時間：

月・火・木・金

9:30~13:00、14:30~18:30

水・土 9:30~13:30

■休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	○	—	○	○	—	—



### 松島院長先生へ佐伯医療部長よりメッセージ



松島先生、当院への大変良いご評価をいただきありがとうございます。松島先生が言われた診療所と精神科病院がうまく役割分担して共存共栄することは、患者さんやご家族にとっても大切であると考えています。これからも24時間365日の受け入れがんばります。松島先生には、個人的には以前佐賀医科大学（現佐賀大学医学部）附属病院でご指導いただきました。その博学さに感嘆しております。

## 「心身ヘルスケア病棟」のご案内

医療部長 佐伯祐一



当院は、精神科救急とアルコール・薬物依存症治療をご評価いただいているが、ストレスケアについても皆さんに自信を持って提供できる治療体制を準備しています。ストレスケアの対象となるのは、主にうつ病や不安障害です。入院環境として「心身ヘルスケア病棟」をご準備しています。そこでは、通常の薬物療法や精神療法の他に、①マインドフルネス瞑想法、②タクティールケア、③うつ病心理教育、④パドリング、⑤森田療法、を実施しています。

①マインドフルネス瞑想法：価値判断なしに心を現在に向けることを「マインドフルネス」と呼びます。過去の嫌なことを思いだしたり、将来のことを心配したりしそうになると、それが心理的な負荷となりストレスを増大させてしまいます。過剰なストレスを生み出さないためには、良い悪いなどの価値判断をせずに心の焦点を「現在」に向けることが大切です。そうした心のあり方を身につけるためにマインドフルネス瞑想法を実施しています。講義や自分の呼吸に集中する呼吸法の練習等を通して、「マインドフルネス」というストレス低減法を習得していきます。

②タクティールケア：「タクティール」とは、ラテン語の「タクティリス (Taktillis)」に由来する言葉で、「触れる」という意味があります。その意味が示すように、私たちの手で相手の背中や手足をやわらかく包み込むように触れる治療法です。タクティールケアは心地よさや安心感、痛みの軽減をもたらしてくれます。タクティールケアによって「オキシトシン」という安心・安楽のホルモンが分泌されることが明らかになっています。

③うつ病心理教育：うつ病の体験は「急に穴に落ちたような感覚」と表現されがちですが、実はうつ病は急に生じるものではなく、少しづつ体や気持ちに段階的な変化が生じる病気です。うつ病心理教育はそこに焦点を当て、うつ病の始まりを「早期発見」し、「早期対処」することで、日常生活からの離脱を予防することを目指したプログラムです。

④パドリング：「社会の波に上手く乗るために、乗りやすい場所まで、自分の力で少しだけ漕いでみよう」というコンセプトの下、社会に適応していくために、できるだけ自分を変えるためのプログラムです。自分を変化させるために二つのアプローチを行います。一つは悩み方のタイプや考え方のクセ、それらを緩めていくための対処法を中心とした「しんどいと感じたときのプログラム」。もう一つは、自分に生じた思考や感情を客観化し、こだわりや根本にある欲求を探し、それらを自分の力で緩めていく「サイコドラマ」です。

⑤森田療法：「人は生じた感情をコントロールしようとするからしんどくなる。生じた感情を“あるがまま”に受け入れていく事で、誰もが持つ自己治癒力を高めていく」という理念を元にした治療法です。治療の初めて実施する臥床期で溜めたエネルギーを、日常生活を中心とした軽作業期で少しづつ開放していきながら、活動期で様々な活動に集中することで、不安や悩みと向き合わない時間を作っています。その後、悩みや不安を解消するための、目前の出来るアクションを試すことで、少しづつ自信を回復していきます。



心身ヘルスケア病棟は、完全個室で、ゆったりとした空間で入院していただけます。特室は特にアメニティーに優れた病室で、ベッドも大きくユニットバス付で高級ホテルに匹敵する快適さを提供できます。窓からの景色もすばらしく、食事も好みに細やかに対応し、フルーツやデザート類を毎食提供しています。

### 超簡単！レシピ

#### ゴーヤの酢づけ

##### 〈材料〉

- ・ゴーヤ 500g
- ・氷砂糖 300g
- ・酢 1C
- ・白ごま

##### 〈作り方〉

- 1 ゴーヤを縦半分に割ってスプーンでワタを取り除き、薄くスライスする。
- 2 ①と氷砂糖と酢を入れ2~3日漬け込む。
- 3 お好みで白ごまをかける。



### 編集後記

猛暑が続きますね。この広報誌が、皆さんの一服の清涼となればと思います。当院は、広報誌を3つ定期的に刊行しています。幅広い読者を対象としたこの「かけはし」、精神医療関係者向けの「ほつとらいん」、そして院内職員向けの「きらめき」です。各職種がメンバーとなった広報誌制作委員会が毎月会合を重ねて、アイデアを出し合い、宛名貼りもみんなで行っています。これからもがんばりますのでご愛読お願いします。(祐)

## information

- 診療科目／精神科・心療内科・内科・リハビリテーション科・歯科
- 専門外来／認知症外来、アルコール症外来、危険ドラッグ(薬物)依存症外来

医療法人優なぎ会

GANNOSU HOSPITAL



〒811-0206 福岡市東区雁1丁目26番1号

☎092(606)2861(代表) ☎092(607)2211

<http://www.gannosu.org> E-mail info@gannosu.org

■病床数:293床(精神264床・一般29床)

■認定等:応急入院指定病院(平成21年)／臨床研修病院(協力型)(平成15年)／飲酒運転撲滅対策医療センター指定病院(平成24年)

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設認定病院(平成17年)／JSCI認定認知症緩和ケア教育研修センター(平成19年)

### 理 念

「納得のいく医療」患者・家族の皆様、そして私たちが納得のいく医療の実践に努めます。

### 基本方針

- 24時間365日の医療を提供し、精神科救急医療の基幹的役割を担います。
- アルコール依存症をはじめとしたアディクション専門医療の更なる充実に努めます。
- 外来・在宅医療の充実を図り、早期退院と社会復帰を支援します。
- 地域の病院や診療所と連携を強化し、地域医療に貢献します。
- 人材育成に努め、質の高い医療を提供します。

### 診療時間

平日 9時～17時 土曜日 9時～12時 日曜・祝祭日 休診

●面会時間 9時～19時

※外来受診は予約制となっております。ただし、急患の際はこの限りではございません。24時間365日、ソーシャルワーカーがご相談をお受けします。まずはお電話にてご相談ください。※診察ご希望の方は、必ず本人及びご本人の様子に詳しいご家族の方がご一緒に外出ください。健康保険証・医療証その他(紹介状など)は、一緒に受付窓口にお出しください。

### 関連施設



医療法人 優なぎ会

**もりもと病院**



診療科目:心療内科・精神科・内科

〒847-0056 佐賀県唐津市坊主町441

TEL 0955-72-5176

医療法人 共和会 小倉リハビリテーション病院

診療科目:リハビリテーション科・内科・整形外科・皮膚科

<http://www.kyowakai.com/>

〒803-0861 北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1

TEL 093-581-0668



社会福祉法人 松寿会

特別養護老人ホーム

**こくらの郷**

〒803-0275

北九州市小倉南区高野4-12-11

TEL 093-453-1100

### 交通のご案内

#### 【車でお見えになる方】

- 高速道路利用 九州自動車道 古賀インターから約20分
- 都市高速道路利用 福岡北九州都市高速道路 香椎浜ランプから約10分

#### 【JR九州をご利用の場合】

- 鹿児島本線香椎駅で香椎線に乗り換え、西戸崎行き雁ノ巣駅下車、徒歩約5分

※時刻、料金等のお問い合わせ TEL 092-681-7186(香椎駅)

#### 【西鉄バスをご利用の場合】

天神郵便局前、18A乗り場から

- 21-A番系統、雁の巣バス停下車、徒歩約2分

- 21番系統、志賀島小学校行き、雁の巣バス停下車、徒歩約2分

- 210番系統、雁の巣バス停下車、徒歩約2分

※時刻、料金等のお問い合わせ TEL 092-733-3333(西鉄テレホンセンター)

